

衆議院小選挙区選出議員選挙公報

(第3区)

新潟県選挙管理委員会

安全安心を取り戻し、 地方が輝く時代を！

さいとう洋明は、我が国の地方自治・消防を担当する
総務大臣政務官として全力で働きました！

さいとう洋明が取り組んだのは
「地方が輝く施策」。

- ①「地域社会再生事業」を作って福祉やインフラ整備のために地方が自由に使える予算を確保。
- ②「コロナ対策地方創生臨時交付金」で財政基盤の弱い地方自治体のコロナ対策を支援。
- ③頻発する豪雨災害に備え「緊急浚渫推進事業」を作って地方の河川管理を国が支援。

プロフィール

生年月日 昭和51(1976)年12月8日(44歳、辰年)
村上市(当時神林村) 平林生まれ
地元小中、中条高校、大学・大学院を経て国家公務員

内閣府(公正取引委員会)を退職して選挙に立候補。
現在に至る。子どもは3人。
ふるさとのため日本のため、捨て身で頑張ります！



さいとう洋明の政策提言

国民を守る！ 外交防衛・防災減災

- 拉致問題にあらゆる資源を動員し最優先で取り組む
- 価値観を共有する日米豪印の連携を強化
- 頻発する自然災害にハードソフト両面で立ち向かう

福祉とデジタルと重点投資で地方創生！

- 高齢者の移動や社会活動を新技術で支援
- 保育・幼児教育、医療・介護職の公的価格を抜本的に見直し
- 新産業やデータセンターの誘致、デジタル技術で地方を活性化

「成長する日本」を再び！

- 「成長が分配が」という不毛な議論に終止符を打ち、分厚い中間層と地方を再生
- 成長するため、まずしっかりと分配給付金や奨学金
- 成長(税収)の自然増なくして財政再建なし

コロナを収束させる！

- 病床・医療人材確保
- 経口治療薬、国産ワクチンの開発
- ワクチン接種証明書による飲食・観光振興
- 予約不要の無料検査の拡大

あわせて製造業、飲食業、観光関連産業などの経済の再生、防災減災など、日常生活を取り戻し、国民の命と暮らしを守るため、総力をあげて対策を講じます！

地域医療を支え、大切な命を守る！
経済を立て直し、暮らしを再生！

コロナを克服、生活を再建！



さいとう

ひろあき
洋明
(44歳)

「前へ！」

○新発田市在住 家族:妻、長女、長男○東京大学法学部中退○参議院議員公設秘書など○2002年 参議院新潟県補欠選挙で初当選、5年務める○2009年 衆議院新潟県第3区から初当選○2010年 法務大臣政務官○2014年 衆議院選挙で2期目の小選挙区当選○2017年 50票差で3期目の小選挙区当選○2019年 立憲民主党国対委員長代理

<http://www.t-kuroiwa.jp>

新発田事務所 〒957-0053 新潟県市中央2-4-21 TEL 0254-21-0700 FAX 0254-21-0707

立憲民主党

村上事務所 〒958-0852 村上 市南町 2-5-19 TEL 0254-450-1755 FAX 0254-50-1756

阿賀町事務所 〒959-4402 新潟県阿賀町津川 3433 TEL/FAX 0254-92-2550(兼用)



暮らしを支える 3本柱

①教育の無償化

子育て支援の大きな柱として高校のみならず大学の授業料無償化(私立は国公立大学程度の補償)、18歳までの医療費窓口負担無料化を実現します。

②農業再生

- 1) 農業者戸別所得補償の復活
民主党政権が実現させた農家へ生産費を現金給付する戸別所得補償。一部自民党議員は断固反対と主張しますが、必ずや復活させて見せます。
- 2) 繰上げ備蓄の拡大
コロナ禍によるコメ需要落ち込みで下落した米価を持ち直す為に最低でも在庫10万tを政府が買い上げます(繰上げ備蓄=10万tで予算250億円)

③介護士・保育士(幼稚園教諭)の公務員化

介護士・保育士は少子高齢化社会で最も重要な職種であるにもかかわらず低賃金。公務員化により処遇改善を図り、人員不足を解消する事で老後と子育ての安心、地方経済の活性化を実現します。

コロナ対策 3つの約束

①強い医療体制の確立

政府は公立・公的病院の統合を推進。新潟3区内の公立・公的病院も7つから3つへと削減する計画です。この計画を白紙に戻しコロナ対策は公立・公的病院に中核を担ってもらいます。

②予防の徹底

早期の国産ワクチンの開発、PCR検査の無料化でコロナの波を抑え込みます。

③給付金・経済支援策の拡充

緊急事態宣言解除により補償金が出なくなる飲食店を始めとするすべての事業者への持続化給付金、また経済的ダメージを受けた個人への定額給付金を再支給します。コロナ収束後を見据えていたGotoトラベル・イートなどの経済支援策を速やかに実施します。

通常国会閉会から今日まで新潟3区内約1万3000軒のお宅を歩いて参りました。3区の生活を誰よりも体感している私に皆様のご支援、どうぞよろしくお願ひします。

私はコロナという未曾有の障壁を乗り越え、「新たな通常の生活」・「生き生きとした社会」を創る、即ちわが国を「前へ」進めるべくこの度の衆議院選挙に立候補致しました。

この間削り続けてきた医療予算を拡充し、新たな医療資源をコロナに投入します。国産ワクチンの早期開発、PCR検査の無料化でコロナの波を抑え込みます。一方、経済的に負った傷に対しては様々な給付金で応急処置を致します。ステージを前へ進める為に高校・大学授業料の無料化、子ども医療費負担の無償化による子育て支援、戸別所得補償制度復活による農業再生、介護士・保育士の公務員化による老後・子育ての安心、地方経済活性化を進めて参ります。



黒出石

たかひろ

投票日



10月31日(日)

投票時間 午前7時から午後8時まで

※一部の投票所を除きます

投票所の混雑緩和のため、期日前投票のご利用もお願いします

期日前投票 10月30日(土)まで

新型コロナウイルス感染症対策について

選挙管理委員会が実施する感染症対策



有権者の皆様へのお願い

